

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	黒姫・妙高山麓大学駅伝大会
事業主体 (連絡先)	黒姫・妙高山麓大学駅伝大会実行委員会 (026-255-2188)
事業区分	その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	6,022,463円 (うち支援金: 2,000,000円)

事業内容

信濃町と新潟県妙高市は、夏のスポーツ合宿の地として陸上競技関係者に長年愛されており、箱根駅伝等に出場する大学駅伝強豪校の合宿地として有名です。その強みを活かし、広域連携の強化及び更なる合宿誘致を推進するため、地域の関係者と連携し第1回黒姫・妙高山麓大学駅伝大会を開催した。

駒澤大学等の首都圏の大学を始め全国から23チームが出場し、無事大会を開催することができた。多くの駅伝ファン及び地域住民が沿道で声援を送るなど大きな盛り上がりを見せた。

また、大会後に行われた陸上教室では、参加選手らが地域の子どもたちと交流しながら陸上指導を行った。



【黒姫・妙高山麓大学駅伝大会】

【目標・ねらい】

- ① 合宿誘致の推進
- ② 広域連携の強化
- ③ 開催地のPR
- ④ 地域スポーツの振興

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 大会を開催したことにより、全国紙及び県内報道機関に取り上げられたほか、参加チームも想定の倍以上に当たる23チームが参加するなど、合宿地としての魅力を全国に発信することができた。
- ② 両市町の関係者と連携が取れたことにより、合宿誘致の活動が面的な活動として広がりを見せるきっかけづくりとなった。
- ③ 全国紙及び県内報道機関に取り上げられたことにより、開催地のPRにつながった。
- ④ 陸上教室を開催したことにより、一流選手との交流の中で子どもたちへのスポーツ振興を図れた。

※自己評価【 A 】

【理由】見込んでいた以上の参加チーム及び観戦者に来ていただき、信濃町と妙高市のPRにつながった。また、陸上教室も予定の3倍近くの来場があったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

初の駅伝大会の開催によって開催地の知名度やスポーツ合宿に対する期待値が高まっている。今後においては、コースの見直しを図り大会の継続を進め、大会事業を軸にスポーツ合宿誘致の推進及び地域スポーツの振興を見据えた活動を実施していく。また、自主財源の確保を図りながら、持続的な大会運営ができるよう地域関係者と連携を密にしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある